

## 廃棄物対策審議会議事録

会議名	平成26年度第5回廃棄物対策審議会
日時	平成27年2月9日(月) 13時30分～16時00分
場所	リサイクルプラザ・プラザ館2階 第3研修室
出席委員	篠山委員、稲葉委員、龍田委員、高岩委員、小木曾委員、松本委員、大谷委員、恵良委員、秋山委員、鈴木委員、村越委員、中西委員、近藤委員
欠席委員	なし
会長	篠山委員
事務局	飯泉環境部長、南雲環境部次長兼クリーンセンター所長、樋口クリーンセンター副所長、互井クリーンセンター副所長、金子クリーンセンター管理計画係長、石戸クリーンセンター収集・リサイクル係長、古谷クリーンセンター管理計画係主事
傍聴人	1名
議題	(1) 流山市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて (2) その他
資料	【資料1】流山市一般廃棄物処理基本計画(素案)
議事要旨	別紙のとおり

## 議事要旨

<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会（１３時３０分）</li> <li>・所長あいさつ</li> <li>・職員紹介</li> <li>・会長あいさつ</li> <li>・議題</li> </ul> <p>（１）流山市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて （２）その他</p>	
会長	<p>それでは、議題の１「流山市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」事務局から資料の説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">～事務局より資料を説明～</p>
会長	ただいまの事務局の説明に対し、ご意見・ご質問等がありますか。
龍田委員	資料１（以下、「資料」という。）のＰ４の最終処分量の増加について、具体的に理由を記載したほうがよいと考えます。
松本委員	やはり、大幅な増減理由は、資料中に記載すべきと考えます。
事務局	<p>最終処分量の増加については、放射性物質の影響により溶融スラグ等の資源化していたものを最終処分するようになったこと、また森のまちエコセンターで一時保管していた剪定枝等の最終処分が可能になったことが理由です。</p> <p>理由等については、簡潔にわかりやすい形に記載する方向で検討します。</p>
篠山委員	資料のＰ９の「施策の評価」の評価の付け方については、評価の一般的なイメージと表記されている評価基準の間に、違和感があると感じますので、改善の余地があると考えます。
恵良委員	評価基準については、市として統一されていますか。
事務局	そのような評価基準はないと認識しています。
恵良委員	<p>達成できたものは「○」、達成できなかったものは「×」といったようにわかりやすく表記したほうがよいと思います。</p> <p>P D C A サイクルにより計画を実践していくと思いますので、評価はわかりやすく、しっかりとすべきだと考えます。</p>
龍田委員	資料のＰ１１について、この計画はごみ関連のものであることから、「人口」における「外国登録人口」については記載する必要はなく、市内に住んでいる人に焦点を当てた表現することが重要であると考えます。
高岩委員	資料のＰ１２「§２ 廃棄物・リサイクル関連の既存計画、目標」について、若干の見にくさを感じます。
会長	今回の見直しについては、現行計画の中間見直しということで、現行の基本計画をベースとした見直しを行っているが、計画の形式等についても、今後審議していくこととしたいと思います。
稲葉委員	資料のＰ１８にある「図４－１－１ ごみ処理体系」について、ごみ焼却施設からの資源化にある「古紙類」は、焼却炉には入れず、焼却前に

	選別するということですか。
事務局	現在、古紙類については、集団回収により資源化していますが、クリーンセンターに自己搬入された古紙類について、ごみ焼却施設で一時的に貯留し、焼却炉に入れず、資源化しています。
部長	委員からのご指摘があるように、ごみ焼却施設はごみを焼却するという中間処理を行うことであるため、このような表記は誤解を招く可能性があると思います。
会長	ここでは、ごみ処理体系を表す必要があって、必ずしも実態を表す必要がないという考え方もあると思います。 ごみ処理体系は、市の方針であり、実態とは異なる部分があると思いますが、それがあまりに違うようであれば、説明を加えていく等の必要があると思います。
部長	現在、市では放射能の影響を受けた廃棄物を取り扱っている状況であることから、注釈を入れる等の表記の方法について検討が必要であると考えます。
恵良委員	バイオマスの議論については、審議会の中でも議論したが、市としては行わない方針と聞いていたところであります。 バイオマスを実施していくことは、非常に良いことであると思います。
会長	バイオマスについては体系ですか。それとも実態ですか。
事務局	現在、森のまちエコセンターに搬入された剪定枝等をバイオマス発電の燃料として利用しているという実態があります。
部長	資料のP18にある「剪定枝・落葉及び草」は、表記の仕方について、中間処理されず、最終処分されているものと認識しています。
中西委員	以前、森のまちエコセンターを見学させていただく機会があったが、その際にバイオマス発電に利用していると説明があったと思います。
事務局	剪定枝等の一部については、市外の施設において、バイオマス発電の燃料として利用しています。
恵良委員	市の施設では行っていないということですか。
部長	市の施設では、そのようなバイオマス発電を行っておりません。 市としては、可能な限り資源化を図っていきます。
恵良委員	ごみ焼却施設でも、発電を行っていると思いますが、その旨も記載すべきではないでしょうか。
部長	資料のP18にある「図4-1-1 ごみ処理体系」では、市がどのようにごみを処理し、資源化・最終処分することを示しているものと考えていますので、今回の審議会でもいただいた意見を参考に修正を行っていきます。
龍田委員	全体的にもう少し整理した形で資料を出してほしいと思います。

	<p>ごみ処理体系については、実態を表すということで整理したほうが良いと考えます。</p>
部長	<p>資料のP19に「剪定枝・落葉及び草」については、現在、有害・危険ごみの日に収集して回収していることから、このことが分かりやすく伝わる表記をすることが適当と考えます。</p>
松本委員	<p>この部分については、注釈を入れて表記したほうがよいと考えます。</p>
事務局	<p>これについては、この審議を踏まえ、全体として調整して、修正を行っていきたいと思います。</p> <p>放射能の問題は、注釈をつけることにより説明する等といったように、表記の統一を図っていきたいと思います。</p>
会長	<p>市民目線でわかりやすく、誤解のないようなものを作成することが重要であると思いますので、市の方においてはその点を重視して作成していきたいと思います。</p> <p>また、当審議会においても、その点を重視して審議していく必要があると考えます。</p> <p>なお、放射能の問題やアンケートの反映等については、注釈により対応する等というような基本方針を持って作成をしてほしいと考えます。</p>
部長	<p>資料のP25について、資源物（びん・缶系）については停止しているラインであるので、書くべきではないと思います。</p>
中西委員	<p>流山市は、現在、人口が増加していることから、住民の入れ替わりの多い地域があります。</p> <p>都市部では、ごみを分別せずに出せるということも聞いたことがあるが、そのようなところから移り住まれた方は、以前住んでいた地域の分別方法でごみを排出することもしばしばあることから、そのことにより、流山市のごみの分別方法とは異なるため、取り残しされてしまい、地域の問題となっている。</p> <p>横浜市では、市の取り組みとして、取り残しごみを確認し、個人が特定できた場合、分別指導等を行うといった取り組みを行い、取り残しごみが減ったという話も聞いている。</p> <p>そのような取り組みを行うことで、地域のごみ問題は少しずつ解決し、ごみ減量・資源化につながっていくものと考えます。</p>
篠山委員	<p>この計画をみると、全体的に肯定的な内容が多く、現状の問題点等のネガティブな意見が書かれていない印象を受ける。</p> <p>そのような内容もアンケート等から抽出し、中間見直しとして厳しい視点で反映させるべきではないかと思います。</p>
中西委員	<p>数値目標が達成できているが、それがごみ問題の実態と連関しない部分も多くあるように感じられる。</p> <p>そのため、ごみ問題の実態に即した計画の見直しを行っていくことが重要であると考えます。</p>
松本委員	<p>確かにきれいごとばかり並べても、ごみ問題の改善には結びつかないように感じます。</p> <p>市のごみ問題の実態に対する対策を検討しながら、見直しを行うこと</p>

	も重要な要素であると考えます。
鈴木委員	資料のP27について、集団回収の1人1日当たりの発生量については、増加傾向となっていると思います。
事務局	この部分についても、全体として調整して、修正を行っていきたいと思います。
部長	資料全体として、具体的な理由等について解説を付け加えるべきであると考えます。
龍田委員	修正した資料を全委員に配布していただきたいと思います。
事務局	審議会の意見を踏まえ、早急に検討し、修正した資料を送付したいと思います。
議長	放射能の影響により、大幅に変更となった施策について、資料中にありますが、何かご意見等はございますか。
龍田委員	流山市の放射能対策費について、費用の流れについてわからない部分がある。
事務局	例として、剪定枝等の最終処分等の費用については東京電力(株)に賠償金として請求しています。 平成25年度分については言えば、約4億円請求しており、約3億1千万円については合意し、残りの賠償金は、東京電力(株)と協議中です。 また、平成25年度分については平成26年度に請求というように、1年遅れての請求となっていることから、それまでの間、市の一般会計として歳出しています。
会長	資料には、放射能問題に対する市のごみ処理に関する施策について表記がありますが、どのような形で示していくことがよいかについても審議していきたいと思います。 また、現行計画の評価については、評価基準をわかりやすくするとともに、今後の施策についても評価に対応したものとし、具体的に標記していくことが重要と考えます。
恵良委員	目標管理が重要で、それについての数値目標があるものについては、達成できているか否かをしっかりと評価するべきであると考えます。
会長	数値があるものについては、数値を基準としてしっかりと評価すること、数値のないものについては、内容を整理し、評価することが重要と考えます。 また、資料中の放射能問題についての施策については、市としての見解を整理し、説明していただきたいと思います。 各委員から指摘があった点につきまして、検討していただき、修正したものを、事前に送付いただければと思います。 なお、答申時期についても上位計画との兼ね合いから、遅れている部分もあるため、十分に審議され、検討した計画の見直しが行えればと思います。
事務局	十分に精査した資料を、委員各位に送付し、より良い計画を作成していきたいと考えております。
部長	この計画の中間見直しの中で、ごみ焼却施設の在り方についても、御審議いただきたいと考えております。

	<p>クリーンセンター ゴミ焼却施設は、平成30年度に稼働15年を経過することから、流山市総合計画下期実施計画に今後の対応について盛り込んでいこうと考えております。</p> <p>そのため、委員各位におかれましては、このことについて御了解いただきたいと思ひます。</p>
会長	<p>この審議会を含め3回の審議の後に答申をいただきたいとの事務局からの要望があることから、これからの方針として、この資料を持ち帰り、今後の審議会で意見交換をし、議論を深めていくという形で審議を行っていききたいと思ひます。</p>
議長	<p>他に質問はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、議題2「その他」については、何かありますでしょうか。</p> <p>ないようですので、今後の意見等について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>次回の審議会は、後日改めて、通知を差し上げます。</p>
会長	<p>わかりました。以上をもちまして本日の審議会を終了します。</p> <p>今回の審議会では事務局と部長の間で、意見の相違やすり合わせができていない部分が見受けられます。</p> <p>今後は、そのようなことがないように市の方針等を十分に調整して、審議会を開催していただきたいと思ひます。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
<p>・閉会(16時00分)</p>	